



高円宮杯 2013ホッケー日本リーグ【女子】最終節 第2日

開催日時 5 月 25 日 (土) 会場 日光市ホッケー場 天候 曇り

【全試合結果】

第1試合 10:00	山梨学院 CROWNING GLORIES 7 $\begin{pmatrix} 5 & - & 0 \\ 2 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 天理大学ベアーズ
第2試合 11:40	東海学院大学 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 1 \\ 0 & - & 1 \end{pmatrix}$ 2 立命館大学ホリーズ
第3試合 13:20	コカ・コーラウエストレッドスパークス 4 $\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 3 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 南都銀行SHOOTING STARS
第4試合 15:00	グラクソ・スミスクライン 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 2 \\ 0 & - & 3 \end{pmatrix}$ 5 ソニーHC BRAVIA Ladies

【各試合の結果・詳細】

第1試合

山梨学院 CROWNING GLORIES 7 $\begin{pmatrix} 5 - 0 \\ 2 - 0 \end{pmatrix}$ 0 天理大学ベアーズ

勝点 10
3 勝 1 分 9 敗

勝点 1
0 勝 1 分 12 敗

<得点>

山梨学院 : 3分オウンゴール、19分高田、23分花田、26分田中、31分松瀬、52分田中、65分吉田
天理大学 :

<戦評>

最終節2日目第1試合、天理大学ベアーズのセンターパスにより試合が開始された。試合開始直後3分、天理大学のレシーブミスからオウンゴールとなり、山梨学院 CROWNING GLORIESが先制した。一方、天理大学は山梨学院の猛攻を粘り強く守るが、19分、2本目のPCを#2高田がレフトからタッチシュートを決め、追加点をあげる。終始、山梨学院がボールを支配する中、23分ゴール前の混戦から#14鈴木が押し込み、3点目をあげた。26分には天理大学の反則からPSを取り、#1田中がゴール右隅に決め、更に30分にも#8松瀬が鮮やかなリバースシュートを決め、5-0で前半を折り返した。
後半、天理大学は山梨学院陣内へ攻め込みPCを取るが決めることができない。前半同様、ボールを支配する山梨学院は52分#1田中がリバウンドシュートを決め、65分にもPCから#12吉田がシュートを決め、7-0で山梨学院が勝利した。

テクニカルオフィサー	関根 由美子	アンパイア	成田 健一
ジャッジ	若林 美枝、佐口 尚志		我妻 順子

第2試合

東海学院大学 0 $\begin{pmatrix} 0 - 1 \\ 0 - 1 \end{pmatrix}$ 2 立命館大学ホリーズ

勝点 12
4 勝 0 分 9 敗

勝点 9
3 勝 0 分 10 敗

<得点>

東海学院 :
立命館大 : 4分山下、49分上館

<戦評>

立命館大学ホリーズのセンターパスにより試合が開始された。試合開始直後、立命館大がPCを立て続けにとり、4分DFのクリアボールを#12山下が押し込み先制する。その後は、お互いに相手陣内へ攻め込むが得点にはつながらず、一進一退の攻防が続く。立命館大は、追加点かと思われたシュートはノーゴールとなり、前半を1-0で折り返した。
後半の中盤までは両者とも決定的なチャンスがつかれず、硬直状態が続いたが、49分、ライトからのパスを受け、#19上館がリバースシュートを決め、立命館大が追加点をあげた。何とか得点を取りたい東海学院大学は、試合終了間際にPCを取るが得点につなげることができず、2-0のまま試合が終了し、学生対決は立命館大に軍配が上がった。

テクニカルオフィサー	市村 美幸	アンパイア	岡安 由美子
ジャッジ	駒田 文雄、加藤 トシ子		木下 英貴

第3試合

コカ・コーラウエストレッドスパークス 4 $\begin{pmatrix} 1 & - & 0 \\ 3 & - & 0 \end{pmatrix}$ 0 南都銀行SHOOTING STARS

勝点 37
12 勝 1 分 0 敗

勝点 25
8 勝 1 分 4 敗

<得点>

CCWR : 12分新井、52分李、54分三橋、68分加藤

南都銀行 :

<戦評>

コカ・コーラウエストレッドスパークスのセンターパスにより試合が開始された。試合開始からCCWRが攻め込みチャンスをつくる。12分、中央からの打ち込みを#9新井がゴール前のタッチシュートで先制点を決めた。その後、両者ともチャンスをつくるが、点数に結びつかない。前半の終盤、南都銀行SHOOTING STARSが立て続けにPCを取り、ゴールを狙うが点が取れず、前半を1-0で折り返す。後半に入り、CCWRの猛攻が続く。52分、PCから南都銀行の反則を誘いPSを取り、#18李が確実に2点目を決めると、その直後の54分、中央をパスで突破し、ライトからのセンターリングを#7三橋がタッチシュートを決め、3-0と点差を広げる。68分、右からのセンターリングを#13加藤がタッチシュートでダメ押しとなる4点目を決め、そのまま4-0でCCWRが勝利した。

テクニカルオフィサー	関根 由美子	アンパイア	根岸 郁美
ジャッジ	若林 美枝、佐口 尚志		山田 恵美

第4試合

グラクソ・スミスクライン 0 $\begin{pmatrix} 0 & - & 2 \\ 0 & - & 3 \end{pmatrix}$ 5 ソニーHC BRAVIA Ladies

勝点 22
7 勝 1 分 5 敗

勝点 37
12 勝 1 分 0 敗

<得点>

グラクソ :

SONY : 19分中島、22分金、45分石田、46分小沢、62分中島

<戦評>

高円宮妃殿下の観戦試合となった。グラクソ・スミスクラインとソニーHC BRAVIA Ladiesの試合は、地元の声援が響く中での試合開始となった。前半中盤までは、両者とも相手陣内へ攻め込みゴールを狙うが得点にならず、お互い一歩も譲らないゲーム展開となった。試合が動いたのは、19分、SONY#10中島がリバウンドを決め先制した。その直後の22分、SONYはPCから#9金がサークル中央でタッチシュートを決め、追加点をあげた。その後もSONYが猛攻を仕掛けるが、グラクソも堅い守備を見せ、前半を2-0で折り返した。後半序盤は、グラクソは攻め込むが、得点することができない。一方、SONYは45分、#12石田がシュートを決めると、46分に#15小沢が、62分にも#10中島が鮮やかなリバースシュートを決めた。試合終了間際、グラクソが1本目のPCを取るが決められず、5-0でSONYが勝利した。

テクニカルオフィサー	市村 美幸	アンパイア	相馬 知恵子
ジャッジ	駒田 文雄、加藤 トシ子		我妻 順子